

住化・住武相談室だより

第11号 11月10日
 発行 住友化学・住化武田農薬
 お客様相談室 0120-677-088
 発行責任者 古津 昇

i-農カサイト <http://www.i-nouryoku.com/index.html>

目次

有機農産物の農林規格	・ ・ ・ ・ ・	p. 1
やさしい農薬の知識 (No. 4)		
【若い看護士さんとおじいさんと農薬散布】		p. 2
コガネムシ用新規BT剤 (シリーズ①)		
ブイハンターフロアブル	・ ・ ・ ・ ・	p. 3
雑草よもやま話 (11)	・ ・ ・ ・ ・	p. 4
住化アグログループ「レインボー薬品」	・ ・ ・	p. 5
今月の相談内容から	・ ・ ・ ・ ・	p. 6
今月の推進農薬 バリダシン液剤	・ ・ ・	p. 7
肥料のはなし その1	・ ・ ・ ・ ・	p. 8
農薬あれこれなぜなにコーナー	・ ・ ・ ・ ・	p. 9
病害虫発生情報	・ ・ ・ ・ ・	p. 10
登録情報	・ ・ ・ ・ ・	p. 11
最近の「お・・・美味しい!」	・ ・ ・ ・ ・	p. 13
コラム・そば談義	・ ・ ・ ・ ・	p. 13
編集後記	・ ・ ・ ・ ・	p. 14



「オナガ (カラス科) と柿」
 技術顧問 富樫 作

有機農産物の日本農林規格の改正



有機JASマーク

通称、有機JASと呼ばれている有機農産物の日本農林規格(平成12年1月20日農林水産省告示第59号)の全部が改正され平成17年10月27日付で公示されました。

その概要のうち、使用可能な農薬の種類が変わった部分に焦点を絞って、簡単にご説明します。

第5条の別表2にそれらの農薬のリストが

記載されており、

- ① でんぶん水和剤が追加されました。
- ② 除虫菊乳剤及ピレトリン乳剤のうち、ピレスロイドの共力剤であるピペロニルブトキサイドを含むものは除外されました。
- ③ デリス(成分名:ロテノン)が削除されました。
- ④ 他にも次の農薬が追加されています。
 - 1) 脂肪酸グリセリド剤 商品名:サンクリスタル乳剤。
 - 2) メタアルデヒド粒剤(捕虫器用途に限定) 商品名:ナメトックス、ナメキール、ナメジゴクプロ、ナメクリーン等。
 - 3) 石灰硫黄合剤 商品名:社名+石灰

硫黄合剤、社名；日農、宮内、サンケイ、キング、カダン等。

現有の農薬としては、

①は住友化学が登録を取得しており、来年春に販売を開始します。商品名：粘着くん水和剤

②は住化武田農薬の関連会社である住化タケダ園芸がパイベニカ乳剤を販売しています。同社ではすでに、この動きを受けてラベル表示から有機農産物に使用可能という表現を削除しています。

③は住友化学ではすでに製造を中止しており、平成17年度中に流通在庫がなくなる見込みです。

まだ、でんぷん水和剤は皆様のお手元には届いておりませんが、有機農産物に使用可能な数少ない農薬として、今後ともご愛顧戴きますようお願いいたします。

④1)、2)、3)とも弊社は販売しておりませんが、有機農産物に使用可能な農薬が追加になり、病虫害防除の選択肢が増えたのは喜ばしいことです。(鈴木)

やさしい農薬の知識 (No. 4)

【若い看護師さんとおじいさんと農薬散布】

最近、病院の看護師さんからこんな農薬の毒性についてのお問合せを受けた。

「農薬を散布して体調が悪くなったという患者さんが来院してきました。その方の話では、いつもより濃い濃度で農薬を散布したのが原因だとおっしゃっていて。その農薬は〇〇〇乳剤なのですが、どんな中毒症状が出るか教えてほしいのですが」

この電話ですぐに思ったのは、この剤の毒性から考えて通常の散布で中毒になることはまずないなあということと、農家さんが濃い濃度で散布したのなら作物の出荷ができないという可能性だった。聞いてみるとその患者さんは一般の方なので後者の心配はなかった。

「その方は何倍で使用したとおっしゃっていますか？」

「いつもは2000倍で散布しているのを500倍で散布したようです」

いつもは大丈夫なのに、4倍濃いだけで中毒とは思えない話と思いながら、すぐに使用方法を確認すると、花や樹木では500～2000倍で使用できる農薬だった。

「その方は、濃い農薬を散布したのが原因とおっしゃっているようですが、500倍だと通常使用されている濃度の範囲になりま

す。この農薬は、いわゆる「普通物」に分類されているもので、その500倍の希

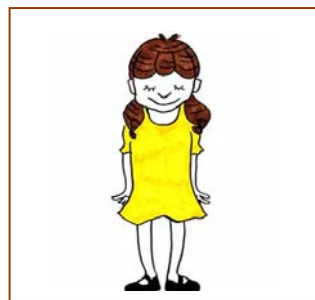
釈液を普通に散布して中毒になることは考えにくいのですが……。ところでどんな症状を訴えているのですか？」

「筋肉痛、関節痛や発熱などです」とその若い声の看護師さんの返事。

これまで農薬の中毒症状で熱が出るというのは聞いたことがない。思わず、「その症状は風邪じゃないですか！」と言いつつになった。この季節の変わり目、気温も下がり、外での作業で風邪でもひいたとしか考えられないのだけれど……。

おそらく医者からの指示なのだろうけれど、その看護師さんの要望で、農薬の中毒症状に関する資料*をファックスで送付した。農薬はラベルの注意事項に従って使っていれば安全に使用できるものなのですが、農薬の毒性に対する病院の認識にやや驚かされた一件でした。(原)

* 「農薬中毒の症状と治療法 第10版」(医師用資料、農水省監修、農薬工業会発行)



コガネムシ用新規 BT 剤(シリーズ①)

「ブイハンターフロアブル」

BT とは？

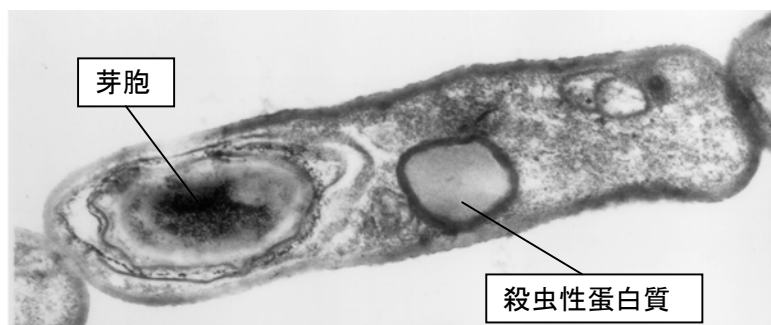
ブイハンター®フロアブルは微生物農薬である BT 剤の一種です。BT 剤とは *Bacillus thuringiensis* (バチルス・チューリンゲンシス; Bt 菌) という細菌が作る殺虫性蛋白質や芽胞 (写真) を有効成分とした殺虫剤です。この Bt 菌は土壌中をはじめ植物体上や水中 (淡水・海水) 土壌など自然界のいたるところに生息しており、極めて一般的な細菌であることが知られています。

Bt 菌は 100 年ほど前にわが国の学者によって蚕の病原菌として発見され (石渡、1901 年)、その後、世界各地で長年に渡り様々な研究がなされてきました。Bt 菌を利用した BT 剤は欧米を中心に 30 年以上も前から実用化されており、微生物を利用した殺虫剤の中では今なお最も広く普及している剤と言われています。一方、国内での BT 剤の実用化は養蚕業に対する配慮等から海外に遅れていましたが、ここ 10 年ほどの間で多くの商品が開発され、急速に普及しました。実は野菜や果樹栽培においてご愛顧頂いている当社剤ダイポール®、エスマルク®、フローバック®及びバイオマック®も BT 剤で

ます。これらの製品は蛾などの鱗翅目害虫 (幼虫) に対して選択的に殺虫活性を示すもので、このようなタイプの BT 剤が従来の代表的な製品でした。しかし、その後、Bt 菌の種類 (菌株) によっては鱗翅目以外にも蚊の幼虫 (ボウフラ) やハムシ幼虫等に殺虫活性を示すものが発見され、海外ではそれらの一部が製品化されています。

1991 年に徳島県から採集した土壌からコガネムシ類の幼虫だけに殺虫活性を示す非常にユニークな Bt 菌が発見され (クボタ・東京農工大・九州大)、*Bacillus thuringiensis* var. *japonensis* strain Buibui (通称ブイブイ株) と命名されました。多くの作物で難防除害虫とされているコガネムシ類の防除を目的として、このブイブイ株を利用した新規 BT 剤「ブイハンター®フロアブル」が商品化されるに至りました。 (丸山)

※ブイブイ株電子顕微鏡写真



雑草よもやま話(11)

日本にイネが伝来したのは今から約3000年前の縄文時代と考えられていますが、水田で栽培されるようになったのは弥生時代と言われていています。最初に日本にきたイネは陸稲であり、その後朝鮮半島を経由して、一部は直接中国から水稲がやってきました。因みに中国で稲作が始まったのは今から約10000年前、水田稲作が始まったのは約5000年前と言われていています。

現在栽培されているイネは、野生のイネを人間が栽培化した栽培植物(作物)で、人間にとって都合のよい性質が選抜されてきました。熟しても籾が落ち難い性質や、一斉に登熟する性質などがそうです。日本には栽培化

されたイネが渡来したわけですが、その後も優秀な農民により日本の気候や各種条件に適合する更なる選抜が進められ、明治以降は国や県の研究者の努力も加わり現在のイネになりました。

一方、イネと共に渡来したタイヌビエは、姿形や出穂時期がイネにそっくり(擬態性)であり、開花後8日位で発芽可能な種子を生産できる性質を獲得しています。この擬態性は、長年にわたって営々と繰り返され

てきた農民による除草作業という人為淘汰の結果です。このため手取り除草ではタイヌビエの除去は困難でしたが、除草剤の普及により比較的容易に防除できるようになりました。タイヌビエは日本では水田の雑草ですが、中国雲南省の少数民族は昔は主要な食糧としてタイヌビエを栽培し、現在

も酒の原料として栽培しているとのことです。日本で食料として栽培されていた(現在も極一部の地域で栽培されている)ニホンビエは、イヌビエに由来する栽培種です。ヒエはイネが伝来する以前の重要な食糧で、約5500年

～4000年前の三内丸山遺跡(青森県)からもヒエが栽培されていたと考えられる痕跡が見つかっています。

(岩崎)

*写真は、青木繁伸氏の「[植物園へようこそ!](#)」から使用させていただきました。



タイヌビエ(種) イネ科
前橋市「敷島公園ばら園」にて Aug 08, 1998

住化アグログループ紹介

レインボー薬品株式会社

レインボー薬品株式会社は、ご家庭でガーデニングを楽しんで頂くために、より便利で使いやすい製品の開発を心がけております。

今回は、同じく住化アグログループである(株)日本グリーンアンドガーデンとの共同で開発した“大容量2Lシリーズ”の殺虫殺菌剤「ダブルプレーAL」と殺虫剤「テンネンムシトール」をご紹介させていただきます。「ダブルプレーAL」「テンネンムシトール」とともに、製剤は(株)日本グリーンアンドガーデンが担当しています。弊社からは製品開発の際に以下のようなアイデアを提案し、両者で仕様を検討しました。

現在、ホームセンター市場で主流となっているハンドスプレータイプの殺虫殺菌剤は容量が800~900ml入りで、これは鉢やプランター栽培を中心とした小面積ユーザー向けの製品です。そのため、花壇や家庭菜園などある程度の広い面積（中面積）に薬剤を使用する方々に対応するものではありませんでした。そこで、これらのお客様のニーズに応えるべく、当社では“大容量2Lシリーズ”を開発することになりました。しかし

単に容量を2Lに増やただけでは、ご家庭で手軽に使用するには重すぎて使



い難いものになるだけです。この問題点を解消するため、日本初である長いチューブ（1.8m）のハンドスプレーを採用しました。これにより、製品容器を置いたままで自在にスプレーすることが可能となったのです。

手軽に広い面積に散布できます。

また、容器を硬質ボトルではなく可変性のある軟容器にする事により、使用後のゴミの少量化を図りました。

大容量で使いやすく捨てやすい、まさにご家庭の花壇や家庭菜園などでの使用に最適な商品です。「ダブルプレーAL」には有効成分としてフェンプロパトリン、ヘキサコナゾールが、また



「テンネンムシトール」にはヒドロキシプロピルデンブレンが配合されており、住化アグログループの技術により完成した製品と言えます。

この他に“大容量2Lシリーズ”品として、当社ではニンニク、ワサビ、トウガラシなど十数種類の植物熟成エキスである100%天然植物保護液「元気丸」を発売しました。「元気丸」とは、家庭菜園愛好者の間で民間療法的に使用されていた植物保護液の総称ですが、弊社製「元気丸」は、製造元である(株)セプトワンの神奈川県産学連携事業化促進委託事業により公的助成を受けて開発されたものです。また、農林水産省有機JAS規格の使用適合資材にもなっています。一般で言われる「元気丸」には木酢液を含む物が多いようですが、木酢液の安全性には不確実な点が多いことから、本製品には木酢液を一切含んでおりません。

この様に、レインボー薬品株式会社はグループ各社と連帯し、ガーデニング愛好家の皆様により使いやすく、安全で安心できる製品をお届けできるよう努力していく所存でございます。



ダブルプレーAL



元気丸



テンネンムシトール

今月の相談内容から

コナダニの防除について？

質問

昨年ほうれんそうコナダニの被害で困りました。ネマモール粒剤 30 での上手な使い方をお願いします。

回答

ほうれんそうを加害するコナダニ類は 3 種類いますが、ホウレンソウケナガコナダニが主体です。

ほうれんそうは連作をしますので、被害を受けた収穫残渣が発生源になります。本種は比較的低温と高湿度を好みますので被害の多くは低温時（春・秋～冬）のハウス栽培で多発し、露地や夏の高温時の発生は少ない。収穫残渣が発生源 [卵、幼虫、若虫、成虫 (0.5mm)] になります。土壌中の密度が高いときは発芽障害を起こし、発芽しない種子がでます。被害葉は展開すると共にこぶ状の突起を生じ湾曲します。光沢のある奇形縮葉で小さな穴ができた周辺



が褐変するので著しく商品価値を落とします。防除方法は、「ネマモール粒剤 30」をは種前に 10a 当り 30kg を全面土壌散布して直ちにロータリー耕で 15cm まで混和をします。ネーキッド種子や催芽処理した種子等薬剤感受性の高い種子は、薬剤処理後 3 日おいてからは種が安全です。被害の多い圃場では体系防除が必要で、生育期に茎葉の被害が見られた場合は「DDVP 乳剤」の 1000 倍散布によりアブラムシ類やヨトウムシとの同時防除ができます。（富樫）

今月の推進農薬

柑橘の貯蔵病害対策について

貯蔵病害(果実腐敗)にバリダシン液剤

今回は、かんきつの「かいよう病」についてお話をさせていただきます。

本病は、*Xanthomonas campestris* pv. *citri* という細菌（バクテリア）によって引き起こされる、細菌病です。この病原細菌の生育適温は、20～30℃です。葉や枝の病斑内で越冬し、翌春、平均気温が12℃前後になるころから菌の増殖が次第に活発になり、降雨等によって“水媒伝染”します。感染は、発芽直後の新葉などククラ層が未発達組織の気孔や負傷口から起こり、発達した健全な表皮から侵入することはありません。従って、降雨の多い時や台風の襲来が多い時などにはひどく感染し発病します。また、本病は品種間の抵抗性の違いが大きく、ネーブル、ナツダイダイ、レモン等は特に弱く、伊予柑等はそれに次ぎ、温州みかんは中程度の抵抗性を示します。日向夏やユズは強く、キンカンは自然条件下では発病しません。

防除対策は、①薬剤予防散布による適期防除（発芽前、開花直前～落弁期～梅雨期、台風襲来前）、②冬期間（春先菌の活動が活発化する前まで）に罹病枝・葉の除去、傷をつけ難くするためのトゲの除去、③ミカンハモグリガ（エカキムシ）の防除、④防風垣、防風ネットの設置などの防風対策など、薬剤防除（予防散布）と耕種的防除を組み合わせ、園内の病原菌密度を下げるのが重要です。

住化アグログループでは、「かんきつかい

よう病」に登録を有する薬剤として、「ボルドー（水和剤）」（塩基性塩化銅 84.1%=銅として50%）と「バリダシン液剤5」（バリダマイシン5.0%）があります。「ボルドー」は、1,000～2,000倍で使用し、使用時期・回数

の制限は特にありませんが、薬害（スターメラノーズ）回避のため、炭酸カルシウム水和剤を加用し、特に果実着生時期の散布では加用することを厳守する。また、ワシントンネーブル等の雑柑類には、薬害の懸念があるため登録の範囲の薄い濃度（2,000倍）で使用する。「バリダシン液剤」の適用内容は、「500倍／21日前／4回」です。本剤は、どの時期に使用しても薬

害の懸念はほとんどありません。また、他剤との混用、特に夏期マシン油との混用でも、薬害の助長や、薬効の低下を招くことなく、使い易い薬剤です。但し、本剤の作用機作（＝植物の抵抗性誘導と菌の栄養代謝阻害から病原細菌の増殖を抑制する）から、菌の増殖前からの予防散布をし、他剤とのローテーション散布の一剤としてご使用ください。

（打和）



肥料の話 その1

土壌養分過多時代の施肥—カリ過剰に起因する苦土の不足

「肥料代が安く済んだが、収量はとれるの？精魂込めて造った堆肥が余ってしまうので、どうしよう？」。

土壌診断結果を報告した群馬県内のナス栽培農家の質問です（表1参照）。

私の返答は、「①施肥の基本は、不足する肥料成分は必要量補給し、過剰な肥料成分は正常値に戻るまで施用を控える。②堆肥は2年程度施用を止め、その後は腐植を維持だけの施用量、年1t程度とする。製造した堆肥は他の農家に売れば？③塩基バランスを改善するために硫酸苦土（ $MgSO_4$ 、商品名：天然硫酸苦土）を施用する」です（表2参照）。

①と②はご理解いただけると思いますので、ここでは③について説明します。カリウムが著しく高いため、苦土/カリ当量比が基準値を下回っています（表2参照）。このため、土壌中の苦土は過剰ですが、植物体では苦土が不足するおそれがあります。実際に、同農家が栽培中のナスを見ると、葉脈間が薄緑色で、苦土不足と判

断しました。なお、カリウム過剰の主要因は堆肥の多投によるものです。

苦土不足のホウレンソウの写真を図1に示します。苦土は葉緑素の構成成分であり、植物の光合成能力に直接影響を与えます。不足すると、葉脈間は薄緑色に、欠乏すると黄色になります。改善には、りん酸苦土肥料の施用も考えられますが、次の点から硫酸苦土が最も良い。土壌中のりん酸は過剰であり、りん酸成分の投入は避けたい。また、硫酸根（S成分）はメチオニンを始めとする含硫アミノ酸の構成成分であり、その補給に役立つ。Sが堆肥、肥料の副成分として含まれ、慣行量の施肥では、必要量が補給されますが、減肥の場合、S成分の補給を考慮する必要があります。養分の蓄積状況は栽培する作物、

農家、施設と露地によっても異なります。このため、圃場に応じた適切な施肥を行うには毎年、定点での土壌診断により養分量を把握されることをお勧めします。（大内）



図1 苦土の欠乏症状

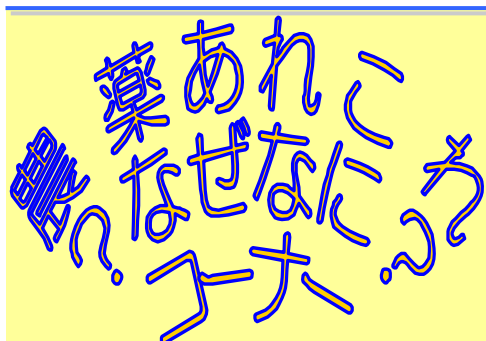
表1 促成ナス栽培圃場の土壌診断結果：群馬県内、2005年10月採取

分析項目	単位	分析値	基準値との比較
水素イオン濃度 (pH)		5.2	▼ 5.8 ~ 6.5
電気伝導度 (EC)	mS/cm	1.12	0.5 ~ ▼
硝酸態窒素 (NO_3-N)	mg/100g	7.8	1.0 ~ 5.0 ▼
有効態りん酸 (P_2O_5)	mg/100g	208	20 ~ 100 ▼
交換性カリウム (K_2O)	mg/100g	186	40 ~ 50 ▼
交換性石灰 (CaO)	mg/100g	463	300 ~ 490
交換性苦土 (MgO)	mg/100g	113	40 ~ 90 ▼
陽イオン交換容量 (CEC)	me/100g	29.1	15 ~ ▼
塩基飽和度	%	89.6	70 ~ 90 ▼
石灰/苦土当量比 (Ca/Mg)	-	2.9	▼ 4 ~ 8
苦土/カリ当量比 (Mg/K)	-	1.4	▼ 2 ~ 5
腐植	%	6.70	3 ~ ▼

基準値 ▼ 分析値

表2 促成ナスの施肥設計例

資材名	成分(%)						現物量 (kg/10a)	成分量(kg/10a)					備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	K ₂ O	CaO	MgO		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO	
エッグエース					52		200				104		石灰資材、卵殻の乾燥粉砕物
天然硫酸苦土					24		100					24	苦土資材、天然鉱床から採掘
NEAミネラル							80						ケイ酸質鉱物+微量要素補給
もろこしパワーN9.5	9.5						200	19					基肥:有機100%N肥料、全層混和
東日ライム	7		3		9.5	3.5	320	22.4		9.6	30.4	11.2	液肥:かん水施肥(月2回×8ヶ月)
計								41.4	0	9.6	134.4	35.2	-



一言で「殺虫剤」と 言うけれど…?

ご質問

合成ピレスロイド剤、有機リン剤・・・いずれも殺虫剤だと聞きました。一言で殺虫剤と言っても、なんだか色々とおあるみたいですね。虫への効きかた、

どれぐらい効いているのか種類によって違うんだと思います。おおまかに教えてください。

お答え

殺虫剤の種類としては、害虫に対して作用する場所とその化合物の構造や作用性により分類されております。以下にその代表的なものを示します。

1. 神経系に作用するもの

- ①有機リン系: スミチオン、ボルテージ、DDVP など
 - ②カーバメイト系: バッサ、ランネート など
 - ③合成ピレスロイド系: アグロスリン、アディオン、ロディーなど
 - ④ネライストキシン系: パダン、ルーバンなど
- ①～③は神経を過剰に刺激する作用を示し、④は神経の伝達を阻害します。

2. 消化管に作用するもの

B T剤: エスマルク、フローバック、ゼンターリなど

害虫の中腸に結合して、中腸壁を破壊します。

3. その他

プロピニルオキシフェニル系: プレオ
(これ以外にも種々の系統がありますが、省略させていただきます。)

残効性については、各薬剤個々により異なりますので、一概には言えません。同じ系統の薬剤を続けて使用するよりも、異なる系統の薬剤を順番にご使用になることをお勧めします。 (佐伯、稲葉)

病害虫発生情報

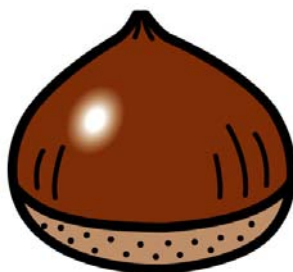
10月～11月初めに各県からの病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

野菜・花き類

○トマト黄化葉巻病：千葉・宮崎県・大阪府 シルバーリーフコナジラミにより媒介されるトマト黄化葉巻ウイルスにより発生します。

定植時のダントツ粒剤又は、ベストガード粒剤（定植時はタバココナジラミ、は種時又は鉢上げ時の育苗培土混和では、コナジラミ類で登録）、生育期の両水溶剤で、コナジラミ類の防除を行ってください。

トマト黄化葉巻病はシルバーリーフコナジラミにより媒介されるトマト黄化葉巻ウイルスにより発生し、トマト黄化萎縮病はタバココナジラミにより媒介されるタバコ葉巻ウイルスにより発生します。二つの病気の病徴による識別は困難です。



あぶらな科野菜・だいず他

○ハスモンヨトウ：山口県 プレオフロアブル（キャベツ）、フローバックDF（野菜類、だいず）、ゼンターリ顆粒水和剤（野菜類、豆類（種実）、そば、きく）、パーマチオン水和剤（だいず）などが、ハスモンヨトウで登録があります。

また、地域で協力して性フェロモン剤、フェロディンSL（ハスモンヨトウ加害作物で登録）による雄蛾の大量誘殺という防除方法もあります。

いちご ○うどんこ病：大分・宮崎県 サルバトールME、サプロール乳剤などで防除してください。

○ハダニ類：福岡・宮崎県 オサダン水和剤・フロアブル、ロディー乳剤、くん煙剤としてスカイマイトくん煙剤、ロディーくん煙剤などの防除薬剤があります。

大豆・野菜類

○吸汁性カメムシ類：福岡県 大豆では、スミチオン乳剤、アグロスリン乳剤などで登録があります。

果樹全般

○果樹カメムシ類：福岡県 ダントツ水溶剤が、りんご、なし、もも、おうとう、かんきつ、かきで、スミチオン水和剤が、りんご、なし、もも、かきで登録があります。

なし

○サクセスクイムシ：千葉県 成虫が木質部に食入する被害はこれまでありましたが、果実への穿孔被害が今回初めて確認されました。防除は、樹幹部に散布しクイムシ類に登録のある薬剤で防除してください。

トルコギキョウ

○トルコギキョウ葉巻病：高知県 シルバーリーフコナジラミにより媒介されるウイルス病です。ベストガード水溶剤が、「花き類・観葉植物」の「コナジラミ類」に登録があります。

【お詫びと訂正】

10月号の本項目において、以下の誤りがございました。お詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

誤：みかん：ミカントゲヘリカメムシ

正： ミナミトゲヘリカメムシ

誤：写真：クワシロカイガラムシ

正：クワコナカイガラムシ（稲葉）

登録情報

10月19日から11月2日までの適用拡大です。

【殺虫剤】

薬剤名	変更点	作物	害虫名	使用量	内容
アクテリック乳剤	作物削除	かんきつ			作物削除
アグロスリン乳剤	作物追加	さぬきな	アブラムシ類	2000倍	収穫前日、 2回以内、散布
アディオオン乳剤	作物追加	さるなし	キロマイカ ^g	2000倍	収穫7日前、 2回以内、散布
		ネクタリン	カメシ類	2000倍	収穫7日前、 3回以内、散布
			シクイムシ類 アブラムシ類	2000～3000倍	
	モモハモグリガ ^g		2000～4000倍		
作物名 変更	花き類（草本植物）・観葉植物				「花き類・観葉植物」に変更
オルトラン粒剤	作物追加	えだまめ	ハスモンヨトウ	3～6kg/10a	
	使用方法 変更	キャベツ			「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」に変更
	作物名 変更	花き類（草本植物）・観葉植物			
樹木類（木本植物）					「樹木類」に変更
ゲットアウトWDG	作物追加	麦類	アブラムシ類	60～150L /10a	収穫21日前、 3回以内、散布
		とうもろこし		100～300L /10a	収穫7日前、 3回以内、散布
		豆類（種実、但しらっかせいを除く）			
	使用液量 追加	てんさい ばれいしょ たまねぎ		100～300L	使用液量を追加
サイアノックス水和剤	作物追加	ネクタリン	シクイムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類 モモハモグリガ ^g カカガラムシ類	1000倍	収穫21日前、 2回以内、散布

薬剤名	変更点	作物	害虫名	使用量	内容
スミチオン乳剤	作物追加	いちよう (種子)	コウモリガ	100倍	収穫60日前、 3回以内、 樹幹散布
	作物名又は適用場所の表記変更	ヨシ、ササ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優先している休耕田			「水田作物、畑作物(休耕田)」 「ヨシ、ササ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優先している休耕田」
	作物名変更	花き類(草本植物)・観葉植物			「花き類・観葉植物」に変更
		樹木類(木本植物)			「樹木類」に変更
使用回数変更	小粒種ぶどう			「2回以内」に変更	
バッサ粉剤30DL	作物追加	小麦	ヤギシロビムシ	種子重量の3%	は種前、1回、 種子粉衣

【殺菌剤】

薬剤名	変更点	作物	病害名	使用量	内容
パスポートフロアブル	作物削除	おうとう			作物削除
スターナ水和剤	作物追加	カラー	軟腐病	30倍	定植前、1回、 球根吹き付け処理
	病害削除	だいこん	腐敗病		病害削除

【除草剤】

薬剤名	変更点	作物	雑草名	使用量	内容
アグロスター1キロ粒剤	雑草名、使用時期、適用土壌、適用地帯変更	直播水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ	1kg/10a	イネ1葉期～ルビエ3葉期まで(但し収穫90日前まで)、壤土～埴土、本剤・ピラゾスルフロニエチル・ブタミホス1回、シロホップフェル3回、湛水散布、全域
アグロスターセツトフロアブル	総使用回数変更	移植水稻			プロモブチドを含む農薬の総使用回数2回
セレクト乳剤	雑草名変更	てんさい	シバムギ、レットトツブ、スズメカビラ		適用雑草名の変更

(稲葉・佐伯)

最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室紅一点！の佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪



「秋になると食べたくなくなります～根菜たち～」

さてさて。今月は、佐伯も一応「主婦なんです」ってトコをお見せしましょう。

秋になると、食べたくなくなるのが根菜のほっこりした煮物です。北海道のある農園から直接いただいた大根(葉っぱ付き!)を使って、他にもいろいろ根菜を入れて、作ってみたのがこれ!

↓「西洋風 鶏と根菜煮物(ポトフもどき)」



[今回は盛付けにも気合入れました]

だいたい、大根というとお味噌汁だとかおでんとか和風の味付けになりがちなので、今回は趣をかえてコンソメベースの西洋風にしてみたところ、なんとも美味。味のアクセントにこれまた戴き物の「赤唐辛子」。ピリっとした味わいで味にメリハリがつかしました。共働きには、こういった煮物を「どかーん」と一度にたくさん作っておくと便利。一日ごとに味もしみていくし、体にも優しいし、作り方もラクチンだし(笑)良いことづくめでオススメですよ～!

(佐伯)

コラム・そば談義

久しぶりに仙台へ出張で行った。

このコラムを書く切っ掛けとなる「そば打ち」を学んだ街でもある。当時は、そば打ちのサークルに入り、そこで習ったことを単身赴任寮の調理場を借りて練習し、気のおけない連中とそばを肴に酒を酌み交わし休日を楽しく過ごしたが、習い始めの頃は殆んどそばは繋がらず、ボロボロの麺をよくもまあ辛抱して食べてくれたとありがたく思う。

さて、仙台営業所の会合も終わり、当時

の同僚と、よく通った飲み屋に出向く。屋号は「味仙」といい、寮の食事に飽き「お袋の味」が食べたくないと立ち寄った店だ。注文するのは仙台名産の「厚揚げ」や好物の「おから」そして地元の新鮮な魚などである。皆で、暖簾を潜ると当時とチョットも変らぬ女将さんが居て、タイムスリップしたかのように楽しい思い出が一気に花開きあつという間に時が流れた。

ところで、「味仙」での一番の思い出は休日に営業所の連中とゴルフした後、そば

打ちを店内でさせてもらったことだ。その時、東京から参加された上司が、そばを打つ私をみて、「こんな真剣な顔付きは仕事では観たことがない」と集まった皆を笑わせ、それから大いに盛り上がったことが懐かしい。

「味仙」はそば屋さんではないが、そばのダシのとり方なども女将さんから懇切丁寧に教えて頂いた。また、後任者がこの店をしっかりと受け継いでいてくれたことも嬉しかった。

さて、話は変わるが「お客様相談室」にも馴染み客がいる。作物が病害虫でうまく育たず困って電話され、お互い薬剤の選定を

考えながら答えを出し、それがうまくいったことで仲間意識が芽生え、それを機に時々電話してこられる。そのような関係になれたのは、「お客様相談室」としてありがたいことだと思う。これからも、お袋の味ではないが安心して相談頂けるような雰囲気をもつ「お客様相談室」になりたいと思うのだが・・・。

(古津)

[編集後記]

今月も、紙面が多くなり申し訳ありません。

毎月、編集会議で10ページ前後を目処に作成しようと話しているのですが、経過措置絡みでマイナー作物関係の登録認可がご覧のように増えました。

さて、11月になると何だか気ぜわしくなりますね。もう少しすると、クリスマスの飾り付けなどがニュースに流れ、お年玉付き年賀ハガキはすでに発売開始しています。これから、仕事に段々と追われ年末を迎えるパターンが毎年続いています。

お客様からの相談は、この時期は少し端境期ですが、この間に来期の目標をきっちり立てて、よりお客様のお役に立てる相談室に成れるよう準備していますのでご期待ください。

